事業名	一般国道153号 飯田バイパス
事業主体	中部地方整備局

●事業の効果や必要性の評価評価に対応する事後評価項目

策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
円滑な モビリティの 確保	● 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	現道 (国道26号・国道151号) で洗滞損失時間の削減が見られる。 洗滞損失時間 (現況) :560,43人・時間/年 洗滞損失削減時間:145,680人、時間/年 (560,643人・時間/年→414,963人・時間/年)
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
	□ 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況	
	● 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	現道又は平行区間等を利用するバス路線(市民バス循環線)の乗降客数の推移 【整備前(平成10年)】9,800人/2便 — 【整備後(平成16年)】62,700人/20便 (バス利用者/便数)
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	
	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	
物流効率化 の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	
	□ 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	
	□ 現道等における総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
	● 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	計画名「飯田都市環状道路」 1.環状道路内の渋滞緩和 2.地域ネットワークの強化 3.生活の安心感の向上 4.まちづくりの推進
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
	□ 中心市街地内で行われたことによる効果	
都市の再生	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である	
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
	対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	
国土・地域 ネットワーク の構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけあり	
	□ 地域高規格道路の位置づけあり	
	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	□ 現道等における交通不能区間が解消	
	□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消	
	● 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	飯田IC-高屋交差点までの所要時間の変化 【整備前(昭和60年)】:18分 → 【整備後(平成14年)】):9分
個性ある 地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	
	□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	

		□ 主要な観光地へのアクセス向上による効果	
		□ 特別立法に基づく事業としての効果	
		● 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	【飯田市立病院の一日あたり外来患者数の変化】 飯田パイパス供用を受け、飯田市立病院がパイパス沿線に移転
		■ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果	移転前 (平成2年) 700人/日 → 移転後 (平成12年) 1,300人/日 (1.8倍)
2. 暮らし	歩行者·自転車		
	のための生活 空間の形成	□ 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	無電柱化に	 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された。 	
	無電柱化に よる美しい 町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		□ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において 新たに無電柱化を達成	
	安全で 安心できる くらしの確保	● 三次医療施設へのアクセス向上の状況	【飯田市立病院の一日あたり外来患者数の変化】 飯田パイパス供用を受け、飯田市立病院がパイパス沿線に移転移転前(平成2年)700人 → 移転後(平成12年)1,300人(1.8倍)
3. 安全	安全な生活 環境の確保	● 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	対象区間の現道を市街地方面に流入する自動車交通量 (6,700台/日→4,600台/日) パイパス自動車交通量 (22,400台/日)
		□ 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ローづけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)とし て位置づけあり	
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯として機能	
4. 環境	地球環境の 保全	● 対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量	(推計結果) 評価対象区間 現道 (国道256号・国道151号): C02排出削減量: 1,988t/年、排出削減率: 2割削減 パイパスについて : C02排出増加量: 8,416t/年 周辺地域全体: C02排出削減量: 1,917t/年
	生活環境の 改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間 現道 (国道256号・国道151号) : NOX排出削減量: 6.9t/年、排出削減率: 2割削減 パイパスについて : NOX排出増加量: 25.0t/年 周辺地域全体: NOX排出削減量: 9.2t/年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間 現道(国道256号・国道151号)SPM排出削減量:0.6t/年、排出削減率:2割削減 バイパスについて:SPM排出増加量:2.4t/年 周辺地域全体:SPM排出削減量:0.4t/年
		● 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	夜間環境基準超過の状況 騒音レベル【整備前(平成8年)】70db →【整備後(平成15年)】63db
		□ その他、環境や景観上の効果	
5. その他	他のプロジェクト との関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		□ 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	
		□ 他機関との連携プログラムに関する効果	
	その他	□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	
	1	1	<u> </u>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道153号	飯田バイパス	L=6. 1km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21, 050	4	中部地方整備局

①費用

	改築費	維持修繕費	合 計
基 準 年		平成19年	
単純合計	283億円	74億円	357億円
基準年における 現在価値 (C)	455億円	61億円	516億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成19年			
供 用 年	平成14年			
単年便益 (初年便益)	41億円	0. 2億円	0.3億円	41億円
基準年における 現在価値(B)	1, 084億円	6億円	9億円	1,098億円

③ 結 果

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名:一般国道153号 飯田バイパス

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①雑匙.	小 筑送败	交通量	[台/日]	0	21, 050
①新設・改築道路 [バイパス等] : 6.1km		走行時間	[分]	0	8
. 0	. I KIII	走行時間費用	[億円/年]	0.00	34. 49
	現道(国 道151	交通量	[台/日]	13, 300	10, 000
	号·153 号·	走行時間	[分]	8	6
	: 3. 3km	走行時間費用	[億円/年]	26. 93	15. 96
	現道(国	交通量	[台/日]	13, 700	12, 100
	道256 号) :4.0km	走行時間	[分]	9	7
		走行時間費用	[億円/年]	31. 38	22. 94
	(都)羽 場大瀬木 線・大門 今宮線 : 4.1km	交通量	[台/日]	22, 400	17, 200
②主な周 辺道路		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	49. 43	30. 20
	(都)大	交通量	[台/日]	16, 700	13, 000
	門座光寺 線	走行時間	[分]	6	5
	:3.3km	走行時間費用	[億円/年]	27. 67	17. 89
	市街地周 辺のその	交通量	[台/日]	5, 000	4, 100
	他周辺並 行路線合	走行時間	[分]	97	93
	計 :38.7km	走行時間費用	[億円/年]	137. 18	109. 33
	2道路合計 44.19km	走行時間費用	[億円/年]	139683. 97	139679. 47

	走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益	
	整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)	
合計: 22624. 67km 走行時間短縮便益	[億円/年]	139956. 56	139910. 28	46. 28

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

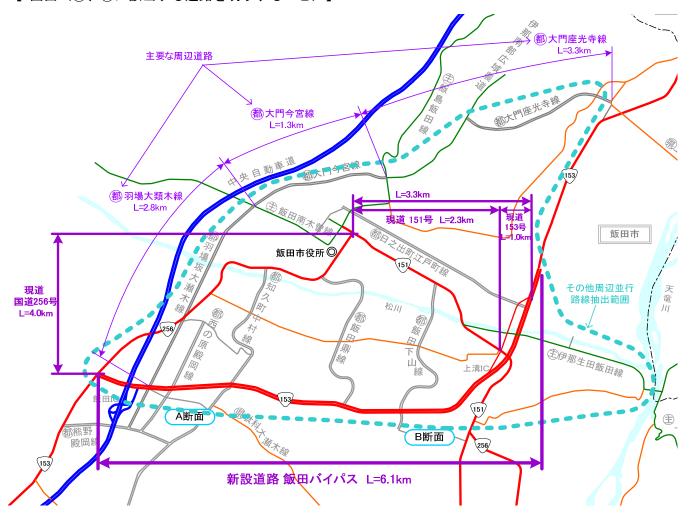
※1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

【 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)】



費用便益分析の条件

事業名: 飯田バイパス

(2)

	チェック欄			
	費用便益分析マニュアル			
	算出マニュアル	(平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	•	
		分析対象期間	40年間	
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%	
		基準年次	平成19年	
	交通流の	■ (H42)		
	推計時点	複数時点での推計		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		
	任前の九九	整備の有無のいずれかのみ推計	口有 口無	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表		
	₩=1.1- EE1.3-4	(三段階推定法)	(H11ベース)	
	推計に用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	П	
	OD ₃	(四段階推定法)		
		その他()		
交		無		
通		有		
流	開発交通量の	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日	
推	考慮	有の場合のみ考慮した理由を記載		
計				
		QーV式を用いた配分		
		転換率式を用いた配分		
		QーV式と転換率式の併用による配分		
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		
	配分交通量の 推計手法	簡易手法		
	推計于法	小規模事業である		
		簡易手法の 場合 山間部海岸部で併行道路が少ない		
		その他()		
		その他()		
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	_	
		して設定	•	
		採用理由を記載各配分によって速度が異なることから、全体を交通量で	ウエイト付けした	
	速度設定の			
	考え方	最終配分の速度		
		採用理由を記載		
		その他()		
		/		

(3)

(0,	,		項目	チェック欄
		考慮しない	25	
		考慮する		
		-5 112 7 0	面的に考慮	
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮	
		考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %
		291 L 0707		
	交通流推計の	平成15年8	- 月12日付け事務連絡に基づく設定	
	時点以外の 便益の算定	その他 ()		
便		費用便益分析		
益	車種別時間	独自に設定し		
の 算	価値原単位			
定		費用便益分	折マニュアルの値を使用	
	車種別走行	独自に設定し	た値を使用	
	経費原単位			
	交通事故減少	中央分離帯の	の有無を考慮	
	便益算定	中央分離帯の	の有無を考慮しない	
	叶眼坛统 弗巴泽	考慮しない		
	時間短縮·費用減 少·事故減少以外	考慮する		
	の便益			
	その他			
		詳細事業計画	画による値を採用	
	事業費	標準投資パタ	マーンを採用	
費		その他()	
用		費用便益分	折マニュアルの値を使用	
の	維持管理費		実績値より設定	
算		その他()	
定	雪寒費	積雪地域また	とは寒冷地域である	
	その他			
4 .	その他			
•••••				
•••••				
•••••				

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般道路(直轄)

笠記夕、年四・ミノ・♀→				ボルギ曲の依拠	放坦的(但特)		
箇所名:飯田バイパス				単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)	
	1	中一士	+ * +	0.27 (培田)	6.08	1.64	
/r.\n	 	割戻率	事業費		維持修繕	費(億円)	
年次	年度	0.5000	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	
<u> </u>	S 58		3.83	9.81			
<u> </u>	S 59	2.4647	1.14	2.81			
-17年目	S 60	2.3699	3.01	7.13			
-16年目	S 61	2.2788	12.09	27.56	0.44	0.00	
<u>-15年目</u>	S 62 S 63	2.1911	20.00	43.82	0.41	0.89	
<u>-14年目</u>	1		17.01	35.83	0.41	0.86	
<u>-13年目</u> -12年目		2.0258	15.86	32.12	0.41	0.82	
<u> </u>	H 2	1.9479 1.8730	12.33 20.32		0.41 0.92	0.79 1.72	
	п з Н 4	1.8009	12.06	21.73	1.01	1.72	
	п 4	1.7317	9.30	16.10	1.01	1.75	
	H 6	1.6651	10.07	16.77	1.01	1.68	
	H 7	1.6010	19.09	30.56	1.01	1.61	
	H 8	1.5395	26.88		1.17	1.81	
	H 9		16.33		1.17	1.74	
	H 10	1.4233	29.95		1.17	1.67	
<u> </u>	H 11	1.3686	26.75		1.17	1.60	
-2年目(暫定供用開始)	H 12	1.3159	14.06		1.56	2.06	
—————————————————————————————————————	H 13	1.2653	9.40	11.90	1.56	1.98	
供用開始	H 14		3.36		1.56	1.90	
1年目	H 15	1.1699	0.00		1.56	1.83	
2年目	H 16		0.57	0.64	1.56	1.76	
3年目	H 17	1.0816	0.00	0.00	1.56	1.69	
4年目	H 18	1.0400	0.00	0.00	1.56	1.63	
5年目	H 19	1.0000	0.00	0.00	1.56	1.56	
6年目	H 20	0.9615	0.00	0.00	1.56	1.50	
7年目	H 21	0.9246	0.00	0.00	1.56	1.45	
8年目	H 22	0.8890	0.00	0.00	1.56	1.39	
9年目	H 23	0.8548	0.00	0.00	1.56	1.34	
10年目	H 24	0.8219	0.00	0.00	1.56	1.28	
11年目	H 25	0.7903	0.00	0.00	1.56	1.24	
12年目	H 26	0.7599	0.00	0.00	1.56	1.19	
13年目	H 27	0.7307	0.00	0.00	1.56	1.14	
14年目	H 28		0.00	0.00	1.56	1.10	
15年目	H 29	0.6756	0.00	0.00	1.56	1.06	
16年目	H 30		0.00	0.00	1.56	1.02	
17年目	H 31	0.6246	0.00	0.00	1.56	0.98	
18年目		0.6006	0.00	0.00	1.56	0.94	
19年目 20年目	H 33 H 34		0.00 0.00		1.56 1.56	0.90 0.87	
20年日 21年日	H 35	0.5339	0.00		1.56	0.87	
22年目	H 36		0.00		1.56	0.80	
23年目	H 37	0.4936	0.00		1.56	0.80	
24年目	H 38		0.00		1.56	0.77	
25年目	H 39	0.4564	0.00	0.00	1.56	0.74	
26年目	H 40		0.00		1.56	0.69	
27年目	H 41	0.4220	0.00		1.56	0.66	
28年目	H 42	0.4057	0.00		1.56	0.63	
29年目	H 43	0.3901	0.00		1.56	0.61	
30年目	H 44		0.00		1.56	0.59	
31年目	H 45		0.00	0.00	1.56	0.56	
32年目	H 46	0.3468	0.00	0.00	1.56	0.54	
33年目	H 47	0.3335	0.00	0.00	1.56	0.52	
34年目	H 48		0.00	0.00	1.56	0.50	
35年目	H 49		0.00	0.00	1.56	0.48	
36年目	H 50	0.2965	0.00	0.00	1.56	0.46	
37年目	H 51	0.2851	-110.05		1.56	0.45	
合 計			283.39	454.84	73.81	61.10	
単純事業費計			283.39		73.81		
十代于不具门			200.03		70.01		

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:飯田バイパス

																				合	計
	年度	10721721101		割引率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		_	(億円)		
	(基準年)									現在価値						現在価値		現在価値	便益合計	現在価値	
年次	H19	乗用車類	貨物車類	全 車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	$(1) \times (A)$	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)	(3)	$\textcircled{3} \times (A)$	(1)~(3))	割戻率4%
12 47 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	H 14	1.01253	0.99952	1.00824	1.2167	27.40	3.89	8.44	0.98	40.70	49.52	0.50	0.02	0.53	-0.87	0.18	0.22	0.32	0.39		
	H 15	1.01237	0.99952	1.00818	1.1699	27.74	3.94	8.43	0.98	41.09	48.07	0.50	0.02	0.53	-0.87	0.19	0.22	0.33	0.38		
2年目	H 16	1.01222	0.99952	1.00811	1.1249	28.08	3.99	8.43	0.98	41.48	46.66	0.51	0.02	0.53	-0.87	0.19	0.22	0.33	0.37		
3年目	H 17	1.01207	0.99952	1.00804	1.0816	28.43	4.04	8.43	0.97	41.87	45.28	0.51	0.02	0.53	-0.87	0.20	0.21	0.33	0.36		
4年目	H 18	1.01193	0.99952	1.00798	1.0400	28.77	4.09	8.42	0.97	42.25	43.94	0.52	0.02	0.53	-0.87	0.21	0.21	0.33	0.35		
	H 19	1.01179	0.99952	1.00792	1.0000	29.11	4.14	8.42	0.97	42.64	42.64	0.53	0.02	0.53	-0.87	0.21	0.21	0.34	0.34		
6年目	H 20	1.01165	0.99952	1.00786	0.9615	29.45	4.19	8.41	0.97	43.03	41.37	0.53	0.02	0.53	-0.87	0.22	0.21	0.34	0.33		
	H 21	1.01152	0.99952	1.00779	0.9246	29.80	4.24	8.41	0.97	43.42	40.14	0.54	0.02	0.53	-0.87	0.23	0.21	0.34	0.32		
	H 22	1.00698	0.99946	1.00467	0.8890	30.14	4.28	8.41	0.97	43.80	38.94	0.55	0.02	0.53	-0.87	0.23	0.21	0.35	0.31		
	H 23	1.00693	0.99946	1.00465	0.8548	30.35	4.31	8.40	0.97	44.04	37.64	0.55	0.02	0.53	-0.87	0.24	0.20	0.35	0.30		
10年目	H 24	1.00689	0.99946	1.00642	0.8219	30.56	4.34	8.40	0.97	44.27	36.39	0.55	0.02	0.53	-0.87	0.24	0.20	0.35	0.29		
	H 25	1.00684	0.99946	1.00460	0.7903	30.77	4.37	8.39	0.97	44.51	35.18	0.56	0.02	0.53	-0.87	0.24	0.19	0.35	0.28		
12年目 13年目	H 26	1.00679	0.99946	1.00458	0.7599	30.98	4.40	8.39	0.97	44.75	34.00	0.56	0.02	0.53	-0.87	0.25	0.19		0.27		
	/	1.00675	0.99946	1.00456	0.7307	31.19	4.43	8.38	0.97	44.98	32.87	0.56 0.57	0.02	0.53	-0.87	0.25	0.18	0.35	0.26		1
	H 28	1.00670	0.99946	1.00454	0.7026 0.6756	31.40 31.61	4.46 4.49	8.38 8.37	0.97 0.97	45.22 45.45	31.77 30.71	0.57	0.02 0.02	0.53 0.53	-0.87 -0.87	0.26 0.26	0.18 0.18	0.36 0.36	0.25 0.24		
	H 29 H 30	1.00666	0.99946	1.00452	0.6756	31.61	4.49	8.37	0.97	45.45 45.69	29.68	0.57	0.02	0.53	-0.87 -0.87	0.26	0.18	0.36	0.24		
	H 31	1.00661	0.99946 0.99946	1.00450 1.00484	0.6246	32.04	4.52	8.37	0.97	45.69 45.92	29.68	0.58	0.02	0.53	-0.87 -0.87	0.27	0.17	0.36	0.23		1
	п 31 Н 32	1.00657 1.00119	0.99946	0.99984	0.6246	32.04	4.58	8.36	0.97	46.16	27.72	0.58	0.02	0.53	-0.87	0.27	0.17		0.23		
	н 32 Н 33	1.00119	0.99658	0.99984	0.5775	32.28	4.59	8.33	0.96	46.17	26.66	0.58	0.02	0.53	-0.86	0.27	0.16		0.22		
20年目	п 33 Н 34	1.00119	0.99657	0.99984	0.5773	32.32	4.59	8.30	0.96	46.17	25.64	0.58	0.02	0.53	-0.86	0.28	0.10	0.36	0.21		
	н 3 4 Н 35	1.00119	0.99656	0.99984	0.5339	32.36	4.60	8.28	0.96	46.19	24.66	0.59	0.02	0.52	-0.86	0.28	0.15		0.20		
	н 36	1.00118	0.99654	0.99984	0.5339	32.40	4.61	8.25	0.95	46.13	23.72	0.59	0.02	0.52	-0.85	0.28	0.13	0.36	0.19		
	H 37	1.00118	0.99653	0.99984	0.4936	32.44	4.61	8.22	0.95	46.22	22.81	0.59	0.02	0.52	-0.85	0.28	0.14	0.36	0.13		
24年目	H 38	1.00118	0.99652	0.99984	0.4746	32.48	4.62	8.19	0.95	46.23	21.94	0.59	0.02	0.52	-0.85	0.28	0.14	0.36	0.10		
	H 39	1.00118	0.99651	0.99984	0.4564	32.51	4.62	8.16	0.94	46.24	21.10	0.59	0.02	0.52	-0.84	0.29	0.13	0.36	0.17		
	H 40	1.00118	0.99650	0.99984	0.4388	32.55	4.63	8.13	0.94	46.25	20.30	0.59	0.02	0.52	-0.84	0.29	0.13	0.36	0.16		1
	H 41	1.00118	0.99648	0.99984	0.4220	32.59	4.63	8.10	0.94	46.26	19.52	0.59	0.02	0.51	-0.84	0.29	0.12	0.36	0.15		
	H 42	0.99658	0.99537	0.99624	0.4057	32.63	4.64	8.08	0.93	46.28	18.77	0.59	0.03	0.51	-0.84	0.29	0.12	0.36	0.45		
	H 43	0.99657	0.99535	0.99623	0.3901	32.52	4.62	8.04	0.93	46.11	17.99	0.59	0.02	0.51	-0.83	0.29	0.11	0.36	0.14		
	H 44	0.99656	0.99533	0.99621	0.3751	32.41	4.61	8.00	0.93	45.94	17.23	0.59	0.02	0.51	-0.83	0.29	0.11	0.36	0.13	46.59	17.48
31年目	H 45	0.99655	0.99531	0.99620	0.3607	32.29	4.59	7.96	0.92	45.77	16.51	0.58	0.02	0.50	-0.82	0.29	0.10	0.36	0.13	46.42	
	H 46	0.99653	0.99529	0.99618	0.3468	32.18	4.57	7.93	0.92	45.60	15.81	0.58	0.02	0.50	-0.82	0.29	0.10	0.36	0.12	46.25	
	H 47	0.99652	0.99527	0.99617	0.3335	32.07	4.56	7.89	0.91	45.43	15.15	0.58	0.02	0.50	-0.82	0.29	0.10	0.36	0.12	46.08	
34年目	H 48	0.99651	0.99524	0.99615	0.3207	31.96	4.54	7.85	0.91	45.26	14.52	0.58	0.02	0.50	-0.81	0.29	0.09	0.35	0.11	45.90	14.72
35年目	H 49	0.99650	0.99522	0.99614	0.3083	31.85	4.53	7.81	0.90	45.09	13.90	0.58	0.02	0.50	-0.81	0.29	0.09	0.35	0.11	45.73	_
36年目	H 50	0.99649	0.99520	0.99612	0.2965	31.74	4.51	7.78	0.90	44.92	13.32	0.57	0.02	0.49	-0.81	0.29	0.09	0.35	0.10	45.56	13.51
37年目	H 51	0.99647	0.99517	0.99611	0.2851	31.63	4.50	7.74	0.90	44.76	12.76	0.57	0.02	0.49	-0.80	0.29	0.08	0.35	0.10	45.39	12.94
合 計						1,185.10	168.45	312.66	36.16	1,702.38	1,083.55	21.47	0.91	19.82	-32.37	9.83	5.99	13.38	8.84	1,725.59	1,098.39